

環境に置き換える

福岡県のいと菜の花保育園様にお伺いすると、乳児室の壁面に「発達過程」が飾られていました。「腹這い」から幼児に向けて両足でジャンプができるようになるまでの「歩行」に関する発達過程を掲示し、子どもたちが今、どの発達段階にいるのか、そして次にはどんな発達が起こるのか、それぞれの発達段階のところに子どもたちの顔写真が貼られしていました。



皆で皆を見守るための環境作りとなっていました。

福岡県のいと菜の花保育園様にお伺いすると、乳児室の壁面に「発達過程」が飾られていました。「腹這い」から幼児に向けて両足でジャンプできるようになるまでの「歩行」に関する発達過程を掲示し、子どもたちが今、どの発達段階にいるのか、そして次にはどんな発達が起こるのか、それぞれの発達段階のところに子どもたちの顔写真が貼られていました。

も、このように環境に置き換えることがとても効果的だと感じました。この発達過程は、運動会のプログラムにも添付されているそうです。「いつも園さんの丸真似から始まり、今も本当に真似ばかりなんですよ」と仰る主任の武内先生でしたが、現場の先生方や保護者が困っている事に対しても、どんどん真似で行こうと精力的に行動している姿に感動しました。

鹿児島県の竹之迫保育園様のミッションページ(※)がいよいよスタートしました。今まで以上に地域・保護者・職員が同じ方向を向いて一緒に協力していくために、今年の2月、まずは自園のミッション(理念)をより明確化することに。それから半年が経過し、今、その理念から、日々自分たちの保育や働き方を振り返り、そこからの気づきをブログで発信するという取り組みに挑戦されています。



【ミッションページ】(※)
園の理念を発信する為の
本ホームページ

鹿児島県の竹之迫保育園様のミッションページ(※)がいよいよスタートしました。今まで以上に地域・保護者・職員が同じ方向を向いて一緒に協力をしていくために、今年の2月、まずは自園のミッション(理念)をより明確化することに。それから半年が経過し、今、その理念から日々自分たちの保育や働き方を振り返り、そこからの気づきをブログで発信するという取り組みに挑戦されています。

でも用意されています。実際に投稿されているブログを拝見すると、先生方がどのような想いを持って子どもたちに接しているのか、子どもたちの姿から何を学ばれているのかなどが伝わってきて、読んでいるこちらも穏やかで温かな気持ちになりました。

「本物は続く、続けると本物になる」という言葉がありますが、何のための園でありますか? 何のために働くのかを見失わないことこそ本物の志事(仕事)であり、そこに近づいていく為の実践を積み上げている、園様の新たな挑戦を私たちも応援させて頂きたいと思います。

熊本県にある社会福祉法人白川園理事長の吉良先生がご来社下さいました。今回お越し頂くことでの社内で実践をしている『だんらんち』、『徳宝酬』等、ありのままを体験して頂きました。その中でも特に讃給(サンキュー)という実践にご興味を持つていただきました。その理由は、社会福祉法人の研修会で『働きやすい職場づくり』についての講義を聴いて危機感を持ち、「何もやらなければ変わらない、どうしたら職員を守れるか」という思いを先生ご自身が強く感じていたからだそうです。

讃給は、共に働くクルーのお金に換算できない心遣い等に対して、感謝の気持ちを表す実践です。この実践について吉良先生から「いつから始まり、はじめはどう思い、今はどうか」等、たくさんの質問を頂



自然食のお弁当を食べながら、
社内実践についてお話ししました。

熊本県にある社会福祉法人
白川園理事長の吉良先生がご
来社下さいました。

今回お越し頂くということ
で社内で実践をしている“だ
んらんち”、“徳宝酬”等、あり
のままを体験して頂きまし
た。その中でも特に讃給(サン
キュー)という実践にご興味
を持つていただきました。その
理由は、社会福祉法人の研修
会で『働きやすい職場づくり』
についての講義を聴いて危機
感を持ち、「何もやらなければ
変わらない、どうしたら職員
を守れるか」という思いを先
生ご自身が強く感じていたか
らだそうです。

讃給は、共に働くクルーの

きましたが、どの質問も良いかどうかの確認ではなく、「実践する為」の質問でした。

最後に吉良先生が「まずは小さなグループからはじめてみよう」と仰る姿からは、働きやすい環境を創っていくことと学び続け、求め続けられる優しさと、皆の為に働きやすさを追求することの大切さを感じました。

追求する姿勢

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念を力グラクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願ひいたします。

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース



これからこの神輿を担ぎます!



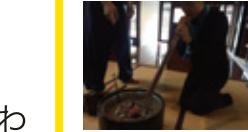
担ぎ終わって…仲間との一体感を感じ心地よい疲労感が。

先日、クルーでお祭りに参加し、神輿を担がせて頂く機会を頂きました。そもそも神輿とは氏神様の乗り物で、氏神様に守られているその土地の氏子が担ぐのですが、今回は有難いお誘いを受け、私たちも担がせて頂きました！ 神輿を担ぎながら町内の神酒所や商店を回り感謝を伝え、また、その商店から労いの言葉や飲み物を頂きます。「祭

※カグヤでは、クルー同士別々の場所にいても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。

助け合いの暮らしき

現在、古民家「聴福庵」の再生をしており、先日皆で1週間程そちらに寝泊まりしながら、掃除は勿論、長年に渡つて傾いていた土台を上げたり、床下に大量の炭を敷いたり…まるで合宿状態！ そんな暮らしは普段と違い、驚くことばかり。例えば、お茶を飲もうと思って、炭をおこしお湯を沸かしているため1時間程かかる…と、自分のペースに合いません。しかし昔の人は、こんな風にそもそも「自分に合わせる」なんて考えではなく、自分が自然や周間に合わせていたのかもしれません。



炭から入れたお茶は、手間暇かけた分、格別！



土台ジャッキアップには昔の「鉄砲ジャッキ」が！



床下にもぐって、皆で炭を敷いています。

壁や窓枠には、漆喰とべんがらを塗っています。

普段の便的な生活では、思いどおりにいくことも多く、どこか傲慢になりがちですが、この「聴福庵」での不便な暮らしからは、五感を働かせ様々な命を感じたり、自然に周りと助け合つたり、おもいやつたり優しくなれることを感じます。

今はこんなにも便利な中で忙しいと、いう不思議な社会の中で生きていますが、心にゆとりを持って、自然に沿つた生き方や働き方を大事にし、柔軟にたくましく、周りと協力しながら生きていけたらと思います。

普段の便的な生活では、思いどおりにいくことも多く、どこか傲慢になりがちですが、この「聴福庵」での不便な暮らしからは、五感を働かせ様々な命を感じたり、自然に周りと助け合つたり、おもいやつたり優しくなれることを感じます。

みんなの稻刈り

9月初め、いつもお客様にお持ちしている玄米クックや、クルーの自宅で頂いている『とびっきり米』の稻刈りを行いました！ 晴天に恵まれ、稻刈りをしていると、どこからともなく野鳥が集まってきた。刈り取った田んぼで、カエルが飛び出してくるのを待つて、いる驚や、舞い上がる虫たちを狙つて、燕たちがやってきます。

「一期一会庵」
「昔の人たちの智慧」

一期一会庵

「昔の人たちの智慧」

先日、会社のクルーたちと全員で古民家に泊りながら古民家再生を実践する機会がありました。約1週間ほどと共に古民家に寝泊まりをしながら110年の柱を磨いたり、床下に1200キロの備長炭をまいたり、壁を漆喰やベンガラという古色の塗料で塗つたりと、いにしえの道具を使いながら修繕を行いました。そこで暮らしは炭火を使つて竈でご飯を炊いたり、また使つた漆器をすぐに洗つて拭き乾かしたり、日々に畳や床の拭き掃除、布団干しなど昔の暮らしを体験できる有難い機会になりました。

今回の古民家再生でもっとも大きな作業は、110年で10センチほど柱が沈みその柱を持ち上げて家の傾きを直すことでした。

回の作業は、昔の大工さんたちの智慧の结晶で執り行われました。鉄筋コンクリートは約30年で壊れるのに対し、日本の昔の家屋は数百年たつても壊れません。昔の古民家は修繕さえすれば、子々孫々までその家を譲り渡していくことができます。なんでもお金を使つて貰うことはないのです。なんでもお金を使つて貰うことはないのです。

昔の人たちの智慧はどんなに時代が変化していくとしても常に使い手によって新しい光を放ち続けています。子どもたちにはそういったものを遺して譲れるように私たちがまづ生き方や働き方を変えていく必要を感じています。引き続き古民家再生を通して、子どもに譲り遺していきたい大切な願いを私たちの実践で伝承していきたいと思います。

●編集後記
今月も竹取新聞をご覧頂きまして、誠にありがとうございました。日に日に秋も深まっておりますので、皆さま自然の変化に沿つてどうぞ自愛下さいませ。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます

本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)

カグヤ
株式会社 カグヤ

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます

本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)